

氏名	宮崎 浩一	所属	電気電子工学科	職位	教授
----	-------	----	---------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	30	1. 前期と後期それぞれに本科の専門科目 科目と専攻科 科目の授業を行う。 2. 授業開始時に授業計画を示すとともに、Teamsを利用して授業に関する資料や課題の配布と提出を行わせることによって、予習・復習が行える環境を整える。 3. 卒論生5名、専攻科生1名の研究指導を行う。 4. 更新された回路シミュレータPSIMやMATLABを授業に活用する。 5. 永久磁石同期モータの学生実験装置を完成する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	20	1. 科研費基盤研究Cにより、「大気中のラマン散乱現象を利用したレーザービーム品質の非接触モニタリング」に関する研究を進める。 2. 第一著者として「大気中のラマン散乱現象を利用したレーザービーム品質の非接触モニタリング」に関する研究の成果を論文発表する。 3. 第一著者として「パワーエレクトロニクス教育における回路シミュレータの活用」に関する成果を論文発表する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	10	1. 吹奏楽部、水泳部の顧問として普段の活動指導を行うとともに、練習や大会に随行する。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	30	1. 学科長として、学科運営の校務を担う。 2. ハラスメント相談員として、学生や教員の相談を受ける。 3. 学科の教員公募について検討を行う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	10	1. 電気学会九州支部高専研究講演会の世話役として、講演会運営をサポートするとともに、学生の講演会への参加を促す。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名		宮崎浩一	所属	電気	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画			実績		記載事項例		
	エフォート	内容		エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	30	電気電子演習1、電気電子演習2、パワーエレクトロニクス、高電圧工学、情報理論、電気電子実験2、プラズマ工学の授業を担当する。講義では、回路シミュレーションソフト等を利用し、学生の理解が深まるように工夫する。情報理論は初めての講義なので、準備を十分してわかりやすい授業を行えるようにする。実験では、電気自動車に使用されている永久磁石同期モータの制御に関する実験項目を追加するための準備を進める。		30	パワーエレクトロニクスの授業で回路シミュレーションソフトを学生に使わせ、理解を深めさせることができた。情報理論の授業で、参考書も活用して準備し、授業中の課題プリントも作成して、わかりやすい授業ができた。卒業研究で永久磁石同期モータの制御の学生実験を行う準備ができた。	担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生数 教育方法改善内容		
研究	20	「レーザートムソン散乱法による大気圧低温プラズマジェット中の電子密度・温度計測」及び「気体散乱現象を利用したレーザービーム品質測定」の研究について、論文を書くための実験データ取得に努める。後者の研究結果についてはICEE2023で発表する予定である。特に後者は科研費で採択された研究テーマなので、力を入れて研究を押し進める。		15	前者は、プラズマ生成装置のトラブルで、対策を行ったため、計測が進んでいない。後者は、測定精度が未確認で発表はできていないが、論文を書くためのデータは揃いつつある。	論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金		
学生生活指導	10	吹奏楽部代表顧問として、日常の練習や演奏活動の支援を行う。福岡県吹奏楽コンクール大学の部、くるめ音楽祭、ニューイヤーバンドフェスティバルなどに参加し、学内では入学式・卒業式、高専祭で演奏する予定である。		10	吹奏楽部代表顧問として、吹奏楽コンクール、ソロコンテスト、アンサンブルコンテスト、ニューイヤーバンドフェスティバル、その他学内行事での演奏の支援を行った。	クラブ顧問 コンテスト指導		
校務・管理運営	30	学科長1年目として、学科長の仕事を理解し、学生の教育に重点を置くとともに、学科の先生方が仕事をしやすいように考え、学科をとりまとめていきたい。		35	学科長として、学生教育に重点を置いた。また、学科の教員数が少なく、教員募集を行うとともに、学科の先生方が仕事をしやすいように考えて、学科をとりまとめた。	主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員		
社会活動	10	電気学会と応用物理学会に所属する。電気学会九州支部高専研究講演会の世話役として、講演会運営をサポートするとともに、学生の講演会への参加を促す。		10	電気学会と応用物理学会に所属し、電気学会九州支部高専研究講演会の世話役として、講演会運営をサポートし、本科学学生2名を講演会へ参加させた。	所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動		

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。